

令和元年生駒市教育委員会第5回定例会会議録

1 日 時 令和元年5月27日(月) 午前9時37分～午前11時04分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

- (1) 報告第4号 令和元年度園児・児童・生徒数について
- (2) 議案第18号 生駒市教育委員会活動点検評価委員の委嘱について
- (3) 議案第19号 令和元年生駒市議会第3回(6月)定例会提出議案の意見について

4 出席委員

教育長	中 田 好 昭		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委員	寺 田 詩 子
委員	神 澤 創	委員	浦 林 直 子
委員	坪 井 美 佐	委員	レイノルズあい
委員	西 井 久 之		

5 事務局職員出席者

教育振興部長	真 銅 宏	生涯学習部長	八 重 史 子
教育振興部次長	坂 谷 操	教育総務課長	辻 中 伸 弘
教育指導課長	城 野 聖 一	学校給食センター所長	植 島 秀 史
こども課長	(教育振興部次長兼務)	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	新 土 和 美	子育て支援総合センター所長	辻 本 多 佳 子
生涯学習課長	梅 谷 信 行	図書館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	山 本 英 樹
教育指導課課長補佐	前 田 伸 行	こども課課長補佐	松 田 悟
教育総務課(書記)	牧 井 望	教育総務課(書記)	鬼 頭 永 実

6 傍聴者 なし

午前9時37分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 会期・会議時間の決定

○日程第3 諸般の報告について

・6月行事予定について、辻中教育総務課長、梅谷生涯学習課長から説明
(質疑) なし

○日程第4 報告第4号 令和元年度園児・児童・生徒数について

・令和元年度園児・児童・生徒数について、坂谷教育振興部次長、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書p1>

(質疑)

飯島委員：小中学校の児童・生徒数について、5年後の見込みも説明いただいたが、過去最多の時期に比べてどのように推移しており、5年後はどのように見込んでいるのかを説明していただきたい。

辻中課長：過去最多の数値は直ちには分からないが、5年後の児童・生徒数は9,307人で推計している。

飯島委員：当市においても、全国と同じく児童生徒数が減少する見込みか。

辻中課長：あくまで推計なので、確実ではないが、今後も減少していく事が見込まれる。学校教育のあり方検討委員会でも、こちらの推計をもとに適正規模について検討していく。

中田教育長：補足であるが、今回の推計は、私立中学校進学率などの過去のデータは踏まえているものの、高山地区第2工区の開発による人口増加を加味していないので、開発後に全体が増加に転じる可能性はある。

浦林委員：全国的に少子化が進んでおり、特に公立幼稚園の園児数の減少が著しい。就学前教育の無償化、保育需要の拡大によって、来年度以降その傾向は更に進んでいくだろう。学校教育のあり方検討委員会でも検討しているとは思いますが、就学前教育のあり方や、余剰教室については、地域への開放や、高齢者と共有等の活用を検討していただきたい。

中田教育長：公立幼稚園の各園の動きを伺いたい。例えば、なばた幼稚園は前年と比較して69人の減となっている。

坂谷次長：市立幼稚園の在園園児数は、平成27年度は1,232人であったものが、平成31年度は929人となり、300人程度の減少となっている。

中でも著しい変動があったなばた幼稚園は、平成27年度の118人から平成31年度は69人と、約50人の減少となっている。また、あすか野幼稚園では、平成27年度の220人から平成31年度は128人となっている。園児数減少によって、なばた幼稚園のような元の規模が小さい園では、行事の実施等に影響が出る場合もあるが、あすか野幼稚園は元の規模が大きいことから、そうした報告は受けていない。

寺田委員：子どもの数が減っているのか、公立幼稚園への就園率が減っているのか、どちらが原因と考えているのか。

坂谷次長：公立幼稚園には細かい園区が定められていないが、おおむねの園区内の3～5歳人口で園児数を割り、就園率を算出すると、あすか野幼稚園では、平成27年度は31.1%であったが、平成31年度は19%となる。

中田教育長：無償化の影響もあり、公立幼稚園にとって厳しい状態が続くが、預かり保育の強化に取り組むなど、今後も公立幼稚園の良さを出していく必要がある。今後は小中学校のみでなく、保育園・幼稚園でも公共施設の活用が検討事項となることを関係者で共通認識できた。

神澤委員：幼稚園の学級編成の基準を伺いたい。

真銅部長：国の基準としては1学級35人以下である。公立幼稚園については、当市では3歳児は25人、4歳児は30人、5歳児は35人を超えない範囲で学級編成をしている。

中田教育長：私立幼稚園の学級編成の基準について説明を受けたい。

新土指導主事：3歳児は25人、4歳児は30人程度、5歳児は35人の定員で学級編成しており、おおむね市立幼稚園と変わらない。

神澤委員：小学校の学級編成についても伺いたい。

真銅部長：小学校については、国の基準では、1年生は35人、2～6年生は40人となっているが、当市では1年生を30人程度、2年生を35人、3～6年生を40人定員として学級編成している。

レイズ委員：議案書4ページの小中学校の表について、それぞれ右端の列が平成30年度の数値であり、上段のクラス数、下段の児童生徒数ともにカッコ内が特別支援学級在籍者数を外数で表示しているということ間違いはないか。

辻中課長：そのとおりである。

レイズ委員：例えば、生駒小学校の今年度と前年度の数字を比較するのであれば、今年度の585人と前年度の555人に外数の22人を足した577人を比較しなくてはならない。今後は折れ線グラフを付けるなど、分かりやすい資料を付けていただければ有り難い。今回、個人的に過去8年間のデータをもとに折れ線グラフを作成したが、8年前と比べて急激に生徒

数が増えている学校も見受けられる。特定の学校に対してのブランド化は市が発信している訳ではないと思うが、学校区によって学校教育に偏りの無いように適正化していただきたい。また、全体の児童生徒数は減少傾向にあるものの、特別支援学級の児童生徒が増えている。様々な支援と適切なサポートが必要になる。数を認識することによって、特別支援のあり方についても教育委員として考えていかななくてはならないと、改めて感じている。

中田教育長：特別支援学級は毎年増加しており、近年の傾向では、情緒が特に増加している。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 議案第18号 生駒市教育委員会活動点検評価委員の委嘱について

- ・生駒市教育委員会活動点検評価委員の委嘱について、辻中教育総務課長から説明
＜参照：議案書 p 5＞
(質疑) なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第6 議案第19号 令和元年生駒市議会第3回(6月)定例会提出議案の意見について

- ・令和元年生駒市議会第3回(6月)定例会提出議案の意見について、西野図書館長、西スポーツ振興課長、坂谷教育振興部次長から説明
＜参照：議案書 p 6＞
(質疑)

レイルス委員：体育施設利用料金について、今後児童生徒と同様、障がい者は半額で利用できるようになる。資料2の別表第3の「4 次に掲げる者以外の者が使用する場合の使用料又は利用料金の額は上表の金額の2倍に相当する額とする」とあるが、どのような意味か。

西 課 長：資料2の表記が抜粋となっているため分かりにくいですが、市外の方は2倍という意味である。一般市民が使用する際の一般料金に対して、児童生徒と障がい者はその半額、市外の方は市内一般料金の2倍の額となる。

レイルス委員：障がい者の使用料を半額にするにあたり、障害者手帳の提示をもって事実確認をするのかと思う。ないとは思いますが、例えば、申し込みの段階で障害者手帳を提示したものの、当日は本人が参加しないなどの悪用も考えられるので、障がい者の方の使用日には、施設管理者が様子を見に行くなど、確認をしていただきたい。

西 課 長：障がい者料金による使用は、おおむね団体による使用を想定している。
体育施設では県の施設予約システムを使用し、使用団体に登録をしていただいている。登録の段階で、障がい者団体であるかは指定管理者が審査するので、そのような悪用は起こりにくいと考えている。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第7 その他

・夏期休業日における学校閉庁日の実施について、辻中教育総務課長から説明
(質疑)

中田教育長：去年の問合せ等の状況を伺いたい。

辻 中 課 長：期間中に事務局に緊急の問合せはなく、現場の混乱もなかった。

・いじめ防止月間における学校等での取組について、城野教育指導課長から説明
(質疑)

神 澤 委 員：各学校では、いじめ防止月間内に実施する事業等はあるのか。

城 野 課 長：県で一斉に実施するいじめに関するアンケートの結果を通じて、各校でご対応いただく。また、中学校では三者面談や二者面談をし、生徒と直接会話をしながら、生徒の変化を敏感に捉えられるように取り組んでいる。

神 澤 委 員：子ども達にとっては、いじめ防止月間はアンケート調査があるくらいの捉え方しかしていないのではないかと。クラス単位の活動等を通して、子ども達が自分自身で、いじめをなくすにはどうすればいいか考える時間になるように、工夫していただきたい。

・熱中症対策の取組について、城野教育指導課長から説明
(質疑)

レイルズ 委員：大瀬中学校ハンドボール部におけるスマートウェアの試用期間を伺いたい。

城 野 課 長：導入に当たっては、5月31日に業者担当者にお越しいただき、対象者である大瀬中学校ハンドボール部の2・3年生男子18名の採寸をする。そして、6月中旬から練習や試合で着用し、熱中症発症の可能性がある10月末までのデータを収集していただく。データの収集については、発信器からスマホやタブレットに自動送信されるので、常に業者から担当者が帯同し、エラー等起こらないように確認していただきながら、生徒たちの健康管理をしていただく。

飯島委員：既に十分配慮していると思うが、生徒の個人情報データと共に出してしまうので、業者担当者には、データとしてのみ使用していただくように管理徹底をお願いしたい。

中田教育長：個人情報も含め、安全面については業者と詰めていく。

神澤委員：運営に当たっては、何かあったときは現場の先生方で対応しなくてはならない。体調の急変等あった場合の対応について、業者との連携も含めてご説明いただきたい。

城野課長：試用に当たっては、学校に負担を掛けないため、業者が常に2・3人ほど練習場や試合会場にいらっしゃって、モニターの確認をしていただく。生徒の心拍数が上がった等の場合、顧問に助言し、適切な指導を促していただく。

神澤委員：試用の段階ではそのようにしていただけたらと思う。試用が終了したら、市内の全児童生徒に配布するのか。

城野課長：費用のかかるものなので、試用段階での効果の検証、今後業者との交渉をしながら、必要な範囲で市内の児童生徒に配布していきたいと考えている。

神澤委員：熱中症のリスクの高い運動部活動から使用を開始して、効果があれば希望者に配布していくのであって、全児童生徒が対象ではないということか。

城野課長：試用の段階では大瀬中学校ハンドボール部の2・3年生男子のみである。試用期間終了後、使用を拡大していくにしても、全児童生徒に向けた配布は困難である。運動部活動に所属する生徒のみに絞っても、中学生の約6割が運動部活動に入部しているので、約2,000名が対象になってしまう。そのような状況の中で、スマートウェア以外にも児童生徒の安全に向けた取組もしていきたい。

中田教育長：スマートウェアについては、市で全額を負担することはないと思う。保護者に対して、受益者負担の選択肢として提示し、使用するかどうかは各家庭で決めていただく。現在も各校に設置している登下校時メール配信サービスについても、受益者負担で、保護者の判断で使用していただいている。安全対策に関しては、学校や教育委員会でも対策していくものであるが、費用負担等については各家庭の協力も必要である。教育委員会から提供するサービスとしては、高額になることは望ましくないので、価格交渉をしていきたい。また、衣類という性質上、一人一枚では足りないので、ユニフォームとして購入することは厳しいと考えている。試用については無償だが、全市的な事業展開となると、今後も交渉が必要となる。

・生駒市学校給食アレルギー対応懇話会の開催について、植島学校給食センター所長から説明

<参照：その他資料1～2>

(質疑)

西井委員：センター方式で給食を提供している自治体としては、先進的な取組であり、大変素晴らしい。しかし、アレルギーを持つ子どもの中には、牛乳一滴が致死量という子どももあり、対応によっては命にかかわるので、対応ができない方については、対応できないと伝えていただきたい。また、様々なアレルギーがあるので、アレルギー除去食をセンター内では区別して管理できても、学校に到着してから混じったりしてしまわないか。配膳は、本人宛に届くのか。

植島所長：当市のアレルギー対応は乳・卵・えび・かにのみであり、それ以外には対応しない。アレルギー除去食はセンター内の別室で調理され、専用のカゴに入れ、食器を含めて全て対象者の名前を付けた状態でお渡しし、押印による確認をするため、コンタミネーションの恐れはない。

西井委員：アレルギー除去食を導入することのみが宣伝されていたので、4品目のみの対応であることを知らなかったが、それならば安心できる。他市町村において、自校で給食を調理している場合は個別対応していることが多いので、当市でも様々なアレルギーに対応できると思っている保護者も多いと思うので、対応は部分的であることを周知していただきたい。また、対応品目の乳についても、加工食品が多岐に渡るので、ご留意いただきたい。学校では、保護者からアレルギー対応用の注射を預かっていることもあり、アレルギー対応マニュアルを作成している。給食センターでも万全の対策をしていただいているとのことであったが、運用にあたっては、命第一の意識で嚴重にお願いしたい。

飯島委員：大手食品メーカーでも、アレルギー除去食をアレルギー物質が含まれる製品と同じラインで製造してしまう手違いが見受けられる。万全の体制を取っていても、そのようなミスは有り得る。また、学校でも子ども達が容器を取り違えてしまうという可能性もある。センターも学校もそのようなミスがあった場合にチェックできるような体制を整えていただくようお願いしたい。

レイルズ委員：その他資料2にあるように、現在5月下旬なので、個別面談されている時期かと思う。個別面談の実施者は、アレルギーに関して知識のある方がされるのか。

植島所長：4月のアンケートにて、アレルギー除去食を希望された方に対して面談を行う。内容としては、乳・卵・えび・かにの4品目のみの対応であること、製造方法、配送の方法等について、ご説明させていただいている。

面談の実施者としては、学校からは学校長または教頭、担任教員、給食主任、養護教諭、給食センターからは栄養教諭である。

レイルス 委員：面談の後、学校給食アレルギー対応懇話会にて除去食提供可否の検討を行うとあるが、提供されない場合に想定される主な理由を伺いたい。

植島 所長：基本的には、面談の段階で提供が不可能と判断される場合、その場で断っている。しかし、面談の段階では提供可能と判断されていても、懇話会において医師から提供できないという意見が出る可能性があるため、その場合にお断りする予定である。懇話会の開催をしていないため、どのような理由で提供不可の意見が出されるかは分からないが、懇話会で専門家の意見を頂くものである。

レイルス 委員：個別面談と懇話会でのダブルチェックをするとのことなので、適切な運用をお願いしたい。また、その後、保護者が毎月の除去食の申請を出すというところがあるが、手間ではないか。

植島 所長：そのようなご意見も頂いているが、既にアレルギー除去食の提供を行っている他市の状況を見ながら、毎月の申請をしていただく判断をした。申請自体は、献立のメニューのアレルギー食の部分にマルをつけるような簡単なものなので、保護者にもご協力いただきたい。

レイルス 委員：アレルギー除去食の提供を受ける児童も給食費は同額なのか。

植島 所長：お支払いいただく給食費は同額である。ただ、製造のコストはかかる。

坪井 委員：私も保護者としてアンケートを回答したが、記述が分かりづらかった。アレルギー除去食提供に至る流れや、アレルギー除去食が4品目にのみ対応していることが伝わらなかった。そのような背景が分からないまま、他のアレルギーについても対応いただけると期待して、対応できないものについて詳細に記述した保護者が多かったと思う。広報については再三お伝えしているが、受け取り手の過度な期待を防ぐためにも、今後はそのような背景について一言添えていただき、分かりやすい通知をしていただきたい。

植島 所長：頂いたご意見を参考に、来年度から分かりやすい記述を心掛けていく。

西井 委員：給食の献立について、アレルギーがある子どもの家庭には、一般的なものより細かな成分表をお渡ししていると思う。特にセンター外で加工している食品について、製造元に問い合わせた成分表を保護者に送付している。そのような詳細な成分表をもとに、各家庭で子どもが食べられるもの、食べられないものを判断していただき、除去食の提供を受けるかを保護者で判断していただく。給食を取らずにお弁当を持参している場合もあり、子どもが食べるものは保護者で判断していただきたい。アレルギー除去食の申請についても、保護者には手間をおかけするが、仕方ない部分だと感じる。

中田教育長：アレルギーは4品目に対応可能とのことであったが、そのうち1品のみ抜いた除去食の提供は可能か。

植島所長：そのような形態での提供はできない。4品目を全て除去したものが提供される。また、アレルギー除去食は別の部屋で作るため、コンタミネーションの心配はない。

西井委員：細かい希望については、センター方式では対応できないのは仕方ない。

・生駒市体育施設の指定管理者候補者の公募について、西スポーツ振興課長から説明
＜参照：その他資料3＞

(質疑)

神澤委員：業者の選定予定を伺いたい。

西課長：7月をめどに指定管理者選定に係る審査委員会を立ち上げ、選定作業を行っていく。12月議会にて、議案を提出する予定となっている。

神澤委員：現段階で候補者は複数となる見込みか。

西課長：現段階でいくつかの業者からの問い合わせもあるので、複数候補があると見込んでいる。

神澤委員：当市には指定管理者を設置している施設が複数あるが、指定管理者によって施設の運営や魅力に変化があると思う。施設を有益に使えるように、指定管理者を選定していただきたい。

・小学校卒業式における袴着用の自粛に係る問合せ状況について、城野教育指導課長から説明

(質疑)なし

○閉会宣告

午前11時04分 閉会